

令和4年度 第9回 学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立東原中学校

記録者 石原 力

開催日時	令和5年1月27日（金曜日）
開催場所	東原中学校 図書室
出席者(委員)	小松進一(校長)・眞下進(会長)・石原力・大倉光男・岡村猛・佐伯幸四郎 東島信明・吉田寛子
出席者(学校)	関野純一(副校長) 奥村健夫(教務主任)
傍聴者人数	無

会議内容(次第順)

【報告事項】

①校長より(東原の現況)

- ・コロナ感染は落ち着いているが、インフルエンザが2年生を中心に何名か出ている。
- ・1月14日に薬物乱用をテーマとしたセーフティ教室を3年生に実施した。
- ・学年ごとに伝統行事の百人一首を実施した。
- ・1月18日、クリーン作戦という事で地域清掃にPTA及び支援本部の見守りの中、ボランティア生徒が参加。
- ・今月、都教育委員会からの要請によりJアラート訓練を実施した。

②協議事項

※R5年度の学校運営に関する基本的な方針の承認について

- ・事前に校長から来年度の骨子を郵送するので目をとおして頂き、次回の会議で承認を頂きたい。

③その他 検討課題:「生徒の自主性向上のために協議会としてできること」

- ・調査の内容から見て一番課題としているのは自己肯定感が東原は低い。行事についてもっと生徒の意見を取り入れ行動する事で自己肯定感があがると考える。またその道のプロの話聞き、自分の生き方を考えるきっかけになれば自己肯定感アップにもなると考える。(校長)
- ・保護者説明会の司会をPTAや支援本部、CSに委ねるのは如何でしょうか(東島委員)
- ・学校側の自己肯定感を高める認識はわかるが、自己肯定感は自主性を高めると同等でいいのか(岡村委員)
- ・自己肯定感が低いとは具体的にどのような事なのか(佐伯委員)
- ・「こんな私でもいいんだ」と言う生き方を考える意味で自己肯定感が必要ではないか(吉田委員)
- ・生きる生き方を学ぶにあたりどのような人、テーマを方策しながら生徒の思いを汲んでいくのはどうか。
- ・自己肯定感本来家庭教育の中で高めるものではないのか。(岡村委員)
- ・学校の制度をいかに保護者に伝えるかがCS委員の役目ではないか(東島委員)
- ・自己肯定感、達成感、人の役に立つ為等次の協議の課題とする。(会長)

次回の会議日程

日時・会場 令和5年2月22日(水) 13時30分から15時 東原中学校図書室